

支 出 調 書

会派名		郡山市議会公明党		代表者	経理責任者	起案者	
						但 野 光 夫 	
区 分	事 由	費 目 ・ 金 額				小 計	
1	調 査 研 究 費	交通費		旅費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		調査委託費		振込料			
2	研 修 費	会場費		講師謝金			
		出席者負担金・会費		交通費			
		旅費		自動車燃料費			
		資料作成費		食糧費			
		振込料					
3	広 報 費	会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		広報誌（紙）		報告書等印刷費			
		送料（折込料含む）		ウェブページ掲載代			
		茶菓子代		振込料			
4	広 聴 費	会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		茶菓子代		振込料			
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	交通費		旅費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		振込料					
6	会 議 費	会場費		交通費			
		自動車燃料費		資料作成費			
		振込料					
7	資 料 作 成 費	印刷製本費		翻訳料			
		筆耕料		振込料			
8	資 料 購 入 費	法規追録代		参考図書代		0	
		新聞（日刊紙）購読料		雑誌等購読料			
		有料データベース等利用料		振込料			
9	人 件 費	賃金		社会保険料等			
		振込料					
10	事 務 所 費 ipadキーボード	備品購入費		事務機器等リース代		9,979	
		消耗品等事務費	9,979	印刷代			
		振込料		配送手数料			
11	通 信 運 搬 ・ 自 動 車 燃 料 費 3月支出分電話料金等 3月分自動車燃料費	電話料等（按分）	3,136			7,809	
		自動車燃料費（按分）	4,673	その他			
支出年月日		2026年 3月 27 日		現金出納簿 支出番号	27	合 計	17,788

支出明細書兼支出証明書

支出番号 27

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		消耗品等事務費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
⑩ 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 （支出事由）	政務活動のための事務消耗品				
内 容	ipad キーボード				
支出年月日	支 出 先			支 出 金 額	
2025 年 12 月 26 日	AMAZON. CO. JP			9, 9 7 9 円	
上記のとおり支出します。					
議員氏名 但 野 光 夫 ⑩					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

別 紙 添 付

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第 11 号様式「領収書等整理票」に貼付してください。



2026年3月24日(火) 20:47 更新

表示 / 非表示

----- 円

引出可能金額 ----- 円

2026

10月

11月

12月

1 月

2月

3月

ミツイスミトモカード (カ)

-171,556 円

2025年12月26日(金)

残高 ■■■■■ 円



2025年12月 日



2025年12月26日

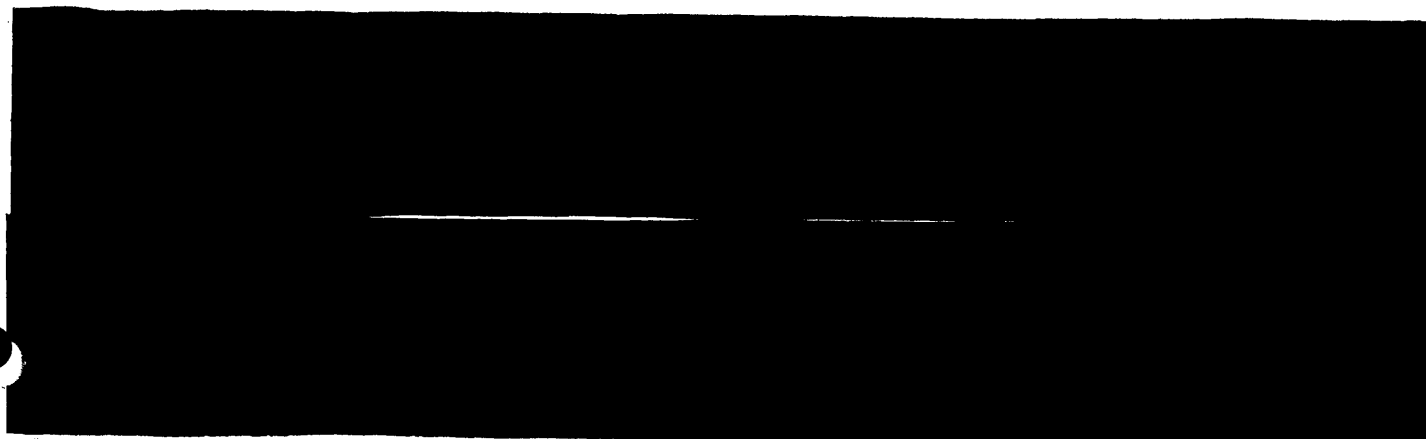
お支払い金額

171,556 円

● 12月26日 お支払い分のご利用明細



Q 日付、金額、明細の名前（店名、ETCなど）

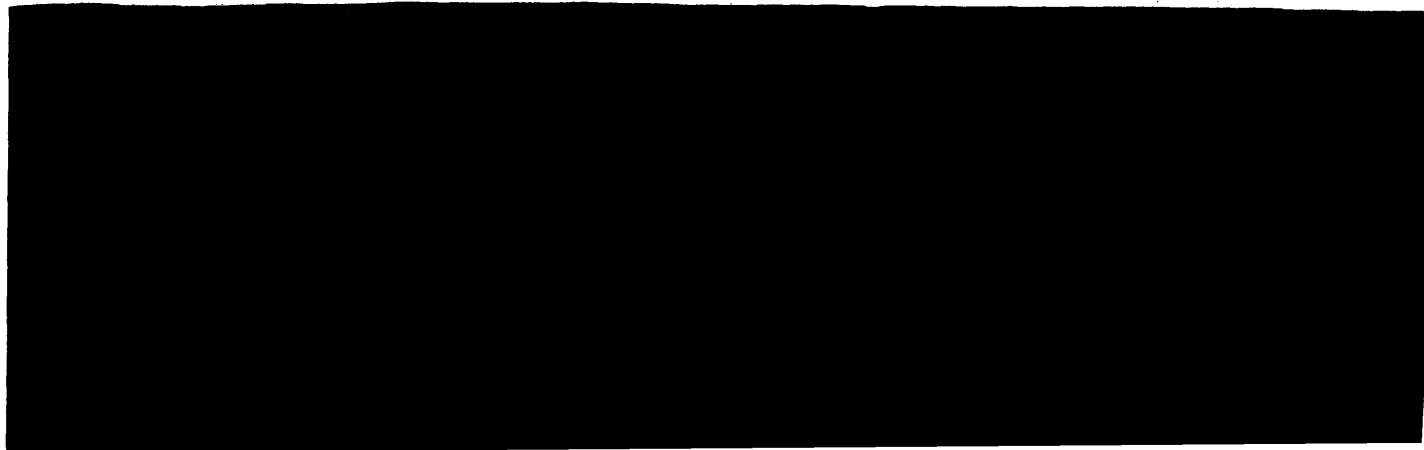


AMAZON. CO. JP

9,979 円 ✓

25.11.16

1 回払い



発行者 Shenzhen Xihu Technology Co., Ltd.

請求書発行日 2025-11-16
請求書番号 JP53AGGCVDWI
合計 ￥9,979

但野 光夫
郡山市 八山田 2丁目, 62番地
福島県, 963-8052
JP

購入者住所

但野 光夫
郡山市 八山田 2丁目, 62番地
福島県, 963-8052
JP

配送先住所

但野 光夫
郡山市八山田 2 62
福島県, 963-8052
JP

発行者

Shenzhen Xihu Technology Co., Ltd.
龙华区大浪街道大浪社区
下岭排商业楼1号609
深圳市, 广东, 518109
CN

情報

注文日 2025-11-15
注文番号 249-6399906-2651825

購入明細

内容	数量	価格 税抜	税率	価格 税込	小計 税込
Bettdow【新設計-スマート接続】スマートキーボード iPad A16 第11世代(2025)&第10世代(2022)対応キーボード ケース Bluetooth不要 iPad 11th 11インチ/iPad 10th 10.9インチiPad専用 マジックキーボード 一体型 磁気吸着 単独充電不要 超高精度トラックパッド付き JIS 配列キーボード 170° 角度調整 日本語取扱説明書付き B0F5B24CK6	1	¥9,072	10%	¥9,979	¥9,979
合計					¥9,979
		税率	小計 税抜	税額	小計 税込
		10%	¥9,072	¥907	¥9,979
合計			¥9,072	¥907	¥9,979

マーケットプレイス商品の税率は、アマゾンジャパン合同会社ではなく当該商品の出品者が決定しています
この書類は通格請求書ではありません。
この書類は支払いの請求ではありません。

支出明細書兼支出証明書（電話料等用）

支出番号 27

区 分		2026年3月支出分
11 通信運搬・自動車燃料費（電話料等）		
支出目的 （支出事由） ※該当するすべての □をチェック	☐ 固定電話料 _____ 円（ _____ 年 月 利用分） ☒ 携帯電話料 <u>6,584</u> 円（2026年2月利用分） ☒ インターネット接続に係る費用、プロバイダ料等 <u>5,960</u> 円 （2026年2月利用分）	
算 定 方 法	電話料等総額 <u>12,544</u> 円 × 按分率 $1/4$ = <u>3,136</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。	
支 出 金 額	3,136 円	
上記のとおり支出します。		
		議員氏名 但 野 光 夫 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

016. 8- 3-26 111

61,097 ソフトバンクMB(SMC)

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

Summary of your charges ご利用料金内訳明細書

請求先名 : 但野 光夫 様

発行日 2026年 3月 11日
ソフトバンク株式会社 (ソフトバンク)
登録番号:T9010401052465

請求先番号: [REDACTED]

Billing number

請求月 : 2026年2月分 (2026年2月1日~2026年2月28日ご利用分)

Month of Issue

電話番号 (お客さま番号等)	料 金 内 訳	内訳金額 (円)	税区分
[REDACTED]	利用料 SoftBank光/SoftBankAir	5,960	10%
	計	5,960	
	* * ご契約期間 28年 5ヶ月 * *		
	基本料 基本プラン (音声) [2月 1日~ 2月28日]	980	10%
	通話料 基本プラン (音声)	1,600	10%
	定額料 データプランメリハリ無制限 (データシェアプラス用)	5,600	10%
	割引 おうち割 光セット	-1,000	10%
	割引 新みんな家族割	-1,100	10%
	通信料 S!メール (MMS) @0円 31Pkt	0	10%
	通信料 データ通信 (4G LTE/5G) @0円 27663855Pkt (通信量合計 27663886Pkt [3.30GB])	0	10%
	通信料 メール (SMS)	6	10%
	通信料 メール (SMS) (他社宛)	45	10%
	月額料 ソフトバンクWi-Fiスポット	467	10%
	無料 ソフトバンクWi-Fiスポット無料特典 (467円 × 100%)	-467	10%
	月額料 iPhone基本パック	500	10%
	利用料 おうちでんき電気代等 (2026年01月分)	15,958	対象外
	割引 おうち割 でんきセット	-50	10%
	その他 ユニバーサルサービス料	2	10%
	その他 電話リレーサービス料	1	10%
	計	22,542	
	小計	57,384	
	課税対象額 計	37,134	
	課税対象10%	37,134	
	消費税等 計	3,713	
	消費税等10%	3,713	
	課税対象外 計	20,250	
	ご請求金額	61,097	
インターネット 5960 5960 22542 - 15958 = 6584 2025 = 7646 5960 + 6584 = 12544 2025 = 3136 1490			

※電話/BBユニバーサルサービス・電話リレーサービスに関しては、(一社)電気通信事業者協会のHPをご参照ください。 <https://www.tca.or.jp/> (1/ 1頁)
 ※更新月等の各種ご契約内容についてはMy SoftBankの契約内容照会よりご確認ください。
 ※他社債権にかかる消費税率は購入元からの明細等をご確認ください。
 ※経過措置対象の取引は旧税率を適用しています。

支出明細書兼支出証明書（自動車燃料費用）

支出番号 27

区 分			※該当する区分に○印	2026 年 3 月支出分
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費		
4 広 聴 費	5 要請・陳情活動費	6 会 議 費		
⑪ 通信運搬・自動車燃料費（自動車燃料費）				
支出目的 （支出事由） ※該当する□をチェック			☐ 特定使途 【区分 1、2、3、4、5、6】 ☒ 按分（4 分の 1） 【区分 11】	
算 定 方 法	特定使途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円		
	按 分 （4 分の 1）	給油総額 <u>18,694</u> 円 × 按分率 1 / 4 = <u>4,673</u> 円 ※按分後の金額の 1 円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限 1 万円。		
支 出 金 額		4,673 円		
上記のとおり支出します。				
議員氏名 但 野 光 夫 				

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

別 紙 添 付

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第 11 号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

ENEOS

納品書(領収書)

2026年03月06日 12:58

売上 住野光天
楽天カード会員 様 M

07046-900000-359

現金会員

車両番号

実車番

0026-00

レギュラ-

P-10

25.81L

*

160円

¥4,129

(アプリカーボン値引 5円

-¥129)

値引後単価 155円

¥4,000

合計

¥4,000

(消費税10%対象

¥4,000

内消費税等

¥364)

お預り

¥10,000

お釣り

¥6,000

ENEOS 公式アプリID:

楽天カード" : XXXXXXXXXXXX

取引CD : 02603060070461732299

取引日時 : 2026/03/06 12:58:48

楽天ポイント:

36P

利用ポイント

0P

利用可能ポイント

P

本日付与されたポイントは2~3日
後に反映されます。また、会員資格
等の理由で、楽天ポイントが加算
されないことがあります。詳細はpoint.rakuten.co.jpにて
ご確認ください。

現金でお支払いの場合は領収書にかえさせていただきます。

取引明細本部からのお知らせ

静電気除去バンドは給油前に必ず触りましょう!

株式会社クラシマ

DDセルフ郡山八山田店

福島県 郡山市八山田2丁目25

TEL:024-922-6415

SS-007046

登録番号: T4380001000437

レシートNo 3898-04 デ-5No1039-1042

003

2026/03/06

ENEOS

納品書(領収書)

2026年03月12日 16:09

売上 住野光天
楽天カード会員 様 M

07046-900000-359

現金会員

車両番号

実車番

0026-00

レギュラ-

P-10

21.39L

*

192円

¥4,107

(アプリカーボン値引 5円

-¥107)

値引後単価 187円

¥4,000

合計

¥4,000

(消費税10%対象

¥4,000

内消費税等

¥364)

お預り

¥10,000

お釣り

¥6,000

ENEOS 公式アプリID:

楽天カード" : XXXXXXXXXXXX

取引CD : 02603120070461732654

取引日時 : 2026/03/12 16:09:30

楽天ポイント:

10P

利用ポイント

0P

利用可能ポイント

P

本日付与されたポイントは2~3日
後に反映されます。また、会員資格
等の理由で、楽天ポイントが加算
されないことがあります。詳細はpoint.rakuten.co.jpにて
ご確認ください。

現金でお支払いの場合は領収書にかえさせていただきます。

取引明細本部からのお知らせ

静電気除去バンドは給油前に必ず触りましょう!

株式会社クラシマ

DDセルフ郡山八山田店

福島県 郡山市八山田2丁目25

TEL:024-922-6415

SS-007046

登録番号: T4380001000437

レシートNo 6727-04 デ-5No1968-1971

008

2026/03/12

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

ENEOS

納品書(領収書)

2026年03月21日 16:49

売上 但野光天
楽天カード会員 様 M

07046-900000-359

現金会員

車両番号

実車番

0026-00

レギュラ-

P-01

35.32L

*

190円 ¥6,711

(アプリクーポン値引 5円 -¥177)

値引後単価 185円 ¥6,534

合計 ¥6,534

(消費税10%対象 ¥6,534

内消費税等 ¥594)

お預り ¥10,000

お釣り ¥3,466

ENEOS 公式アプリID: [REDACTED]

楽天カード: XXXXXXXXXXXXX [REDACTED]

取引ID: 02603210070461732917

取引日時: 2026/03/21 16:49:12

楽天ポイント: 51P

利用ポイント OP

利用可能ポイント [REDACTED]P

本日付与されたポイントは2~3日後に反映されます。また、会員資格等の理由で、楽天ポイントが加算されないことがあります。

詳細はpoint.rakuten.co.jpにてご確認ください。

現金でお買上げの場合は領収書にかえさせていただきます。

郡山消防本部からのお知らせ

静電気除去パッドは給油前に必ず触りましょう!

株式会社クラシマ

DDセルフ郡山八山田店

福島県 郡山市八山田2丁目25

TEL:024-922-6415 SS-007046

登録番号: T4380001000437

レシートNo 2197-01 デ-9No1374-1377

005 [REDACTED] 2026/03/21

ENEOS

納品書(領収書)

2026年03月26日 09:27

売上 但野光天
楽天カード会員 様 M

07046-900000-359

現金会員

車両番号

実車番

0026-00

レギュラ-

P-07

25.06L

*

171円 ¥4,285

(アプリクーポン値引 5円 -¥125)

値引後単価 166円 ¥4,160

合計 ¥4,160

(消費税10%対象 ¥4,160

内消費税等 ¥378)

お預り ¥10,000

お釣り ¥5,840

ENEOS 公式アプリID: [REDACTED]

楽天カード: XXXXXXXXXXXXX [REDACTED]

取引ID: 02603260070461733107

取引日時: 2026/03/26 09:27:02

楽天ポイント: 12P

利用ポイント OP

利用可能ポイント [REDACTED]P

本日付与されたポイントは2~3日後に反映されます。また、会員資格等の理由で、楽天ポイントが加算されないことがあります。

詳細はpoint.rakuten.co.jpにてご確認ください。

現金でお買上げの場合は領収書にかえさせていただきます。

郡山消防本部からのお知らせ

静電気除去パッドは給油前に必ず触りましょう!

株式会社クラシマ

DDセルフ郡山八山田店

福島県 郡山市八山田2丁目25

TEL:024-922-6415 SS-007046

登録番号: T4380001000437

レシートNo 3863-03 デ-9No7988-7991

003 [REDACTED] 2026/03/26

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

支出調書

会派名		郡山市議会公明党	代表者	経理責任者	起案者		
					但野光夫 		
区 分		事 由	費 目 ・ 金 額				小 計
1	調 査 研 究 費		交通費		旅費		
			自動車燃料費		資料作成費		
			調査委託費		振込料		
2	研 修 費		会場費		講師謝金		
			出席者負担金・会費		交通費		
			旅費		自動車燃料費		
			資料作成費		食糧費		
			振込料				
3	広 報 費	広報誌（紙）令和8年春季号 印刷制作・折込料・振込料	会場費		交通費		1,045,192
			自動車燃料費		資料作成費		
			広報誌（紙）	698,544	報告書等印刷費		
			送料（折込料含む）	345,768	ウェブページ 掲載代		
			茶菓子代		振込料	880	
4	広 聴 費		会場費		交通費		
			自動車燃料費		資料作成費		
			茶菓子代		振込料		
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費		交通費		旅費		
			自動車燃料費		資料作成費		
			振込料				
6	会 議 費		会場費		交通費		
			自動車燃料費		資料作成費		
			振込料				
7	資 料 作 成 費		印刷製本費		翻訳料		
			筆耕料		振込料		
8	資 料 購 入 費		法規追録代		参考図書代		
			新聞（日刊紙） 購読料		雑誌等購読料		
			有料データベース 等利用料		振込料		
9	人 件 費		賃金		社会保険料等		
			振込料				
10	事 務 所 費		備品購入費		事務機器等 リース代		
			消耗品等事務費		印刷代		
			振込料		配送手数料		
11	通 信 運 搬 ・ 自 動 車 燃 料 費		電話料等（按分）		郵便料等		
			自動車燃料費 （按分）		その他		
支出年月日		2026年3月30 日	現金出納簿 支出番号	28	合 計	1,045,192	

支出明細書兼支出証明書

支出番号 28

区 分 ※該当する区分に○印				費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	③ 広報費	4 広聴費	広報誌（紙） ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）			
支出目的 （支出事由）		政務活動に係る広報誌（紙）の製作費		
内 容		郡山市議会公明党議会報告（令和8年春季号）の製作・印刷費		
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額	
2026年3月27日	株式会社 ル・プロジェ		698,544円	
上記のとおり支出します。				
郡山市議会公明党				

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

No 030734

郡山市議会公明党 様

¥698,544

但し 郡山市議会公明党議会報告（令和8年春季号）データ制作、印刷料金（一式）として

入金日 2026年3月27日 上記正に領収いたしました

御入金内訳	現金	振込	手形	相殺	取扱者

税抜金額 10%対象 635,040 円
8%対象 円
非課税 円

消費税額等 10%対象 63,504 円
8%対象 円

社印及び取扱者印なきものは無効といたします。

登録番号 T5380001006994

株式会社 ル・プロジェ

□本社 / 〒963-8032 福島県郡山市下田町19番地07
TEL(024)935-0789(代) FAX(024)935-0780(代)

□仙台営業本部 □東京営業本部

デジタルコピー&印刷工房 アヴァン

□郡山店 □仙台店

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

郡山市議会公明党 御中

963-8032 福島県郡山市字下亀田17番地の7

株式会社ル・プロジェ

代表取締役 山田 洋一郎

TEL 024-935-0789 FAX 024-9

〈御振込先〉

大東銀行 朝日支店 (普) No. 1278696

登録番号 T5380001006994

下記の通り御請求申し上げます

今回御請求額

698, 544

※「消費税」は内税の場合表示されません。

日付	商 品 名	数 量	単位	単 価	金 額
3/27	郡山市議会公明党議会報告(令和8年春季号)				
	データ制作・印刷料金(一式)				
	■折込日:指定日折込				
	■サイズ:B3二つ折り(仕上B4)	66,150	部	9.60	635,040
	■色数:4/4c				
	■用紙:コート63kg				
	■部数:(折込分:64,150部・納品分:2,000部)				
	■納品日:折込分は折込日に準ずる				
	※納品分2,000部は3月27日(金)PM予定				
	※納品分は500部×4梱包				
	※データ制作費・印刷費一式として				
	課税 10.0% 税抜額				635,040
	消費税額				63,504
	今回御買上額				698,544

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$382 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 417,144 \text{ mm}^2 \cdots \text{i}$$

2 対象外面積

$$0 \text{ mm}^2 \cdots \text{ii}$$

3 按分割合

$$\text{ii} \div \text{i} \times 100 = \text{対象外按分率 } 0\% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 698,544 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0\% = 0 \text{ 円} \cdots \text{iii}$$

(1 円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 698,544 \text{ 円} - \text{iii} = \underline{\underline{\text{対象経費 } 698,544 \text{ 円}}}$$

令和8年3月
定例会代表質問

たの みつと
但野 光夫議員

将来都市像「東北の鼓動 未来奏でる 選ばれるまち 郡山」について

Q 将来都市像の理念や具体的な都市の姿、「選ばれるまち」とは誰からどのような点で選ばれることを想定しているのか、人口戦略や企業誘致、子育て支援などとの関係を含め市の考えを問う。

A 本市が東北の中核都市として持つ交通・産業・交流の拠点性を生かし、地域全体の発展をけん引していく都市を目指す考えを示したものである。「東北の鼓動」には、人・モノ・情報が集まり広域に活力を生み出す役割を担う都市であり続けるという意味が込められている。また「未来奏でる」には、多様な主体が協働しながら新しい価値や魅力を創出し、持続可能なまちづくりを進めていく姿を表している。さらに「選ばれるまち」は、子育て、産業、文化、生活環境など様々な分野で魅力を高め、市民はもとより企業や来訪者からも選ばれる都市を目指すという考えを示したものである。こうした理念のもと、市民とともに将来にわたり活力ある郡山の実現を図っていく。



今後の「けんしん郡山文化センター」施設のあり方について

Q 施設の老朽化やバリアフリーの課題を踏まえ、将来的な施設整備のあり方について市の見解を問う。

A 開館から40年を迎える「けんしん郡山文化センター」の整備方針を検討するため、令和3・4年度に調査・診断を実施しました。その結果、建物の躯体は健全なものの、照明・音響設備の劣化やバリアフリー対応の遅れなど、施設全体で物理的・機能的・社会的な劣化が確認されました。これまで緊急性の高い箇所に対応してきましたが、今後は物価・人件費の高騰や人口減少に伴う需要の変化を考慮する必要があります。そのため、新たに「庁内検討チーム」を設置し、他自治体の事例研究などを通じて、効果的な大規模改修の手法や、新施設建設の可能性を含めた検討を進めてまいります。

補聴器購入助成制度について

Q 加齢性難聴者への補聴器購入助成事業が始まります。補聴器の購入が促進されるように、制度の柔軟な運用を検討するべきと考えますが、見解を問う。

A 高齢者の難聴は、社会的孤立や認知症発症のリスクを高める要因となります。市は、高齢者の健康維持を目的に、独自の助成制度を創設するため、予算案602万2千円を今定例会に上程しました。本制度は、他市の事例を参考に「非課税世帯の方」を対象とする方針です。今後、本事業が効果的かつ実効性のある持続可能な制度となるよう、引き続き調査・研究を進めてまいります。



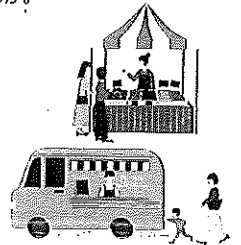
郡山駅前周辺整備について

Q 駅前再整備にあたり、野鳥の糞害対策を重点課題と位置づけ、関係部局でプロジェクトチームを作り、さらなる対策強化に取り組むべき、見解を伺います。

A 市は駅前の糞害に対し、商店街と協力して音・光による追い払いやゴミ出し管理を行ってきました。調査の結果、在来種に加え冬季に飛来するミヤマガラスが被害を増大させていることが判明しました。市単独での抜本的解決が困難なため、昨年5月には他自治体と連携し国へ対策を請願しています。今後も玄関口の環境美化のため、関係部局や商店街との協議の場を改めて設置し、糞害減少に向けた対策を強化していく方針です。

Q 郡山駅西口駅前広場の再整備にあたり、今まで開催に課題のあったテント等での飲食の販売を行うことは可能なのか。

A 市は、まちなかの賑わい創出のため、キッチンカーによる飲食販売やイベントを開催しやすい「賑わい広場」へのリニューアル事業に来年度から着手します。これに合わせ、一定のルールの下で民間事業者による飲食・物販等が可能となるよう、関係機関との調整や他市の事例調査を行い、条例等の改正に向けた検討を進めてまいります。



令和7年12月
定例会一般質問

おしき ひろこ
小島 寛子議員

住生活について

住まいのエンディングノートについて

Q 空家を作らない取組として、国が示す「住まいのエンディングノート」を活用し、民間の関係機関と連携し啓発活用を促し、行政機関の窓口で配布するなど、具体的な取組をすべきでは？



A これまで活用促進を図るためのチラシを作成し、「こおりやま空家バンクセミナー」等で周知・啓発してきたが、今後は、市民課や各行政センター窓口での配布、公式SNSでの発信、さらには民間の関係機関等とも連携を図り、周知・啓発に取り組む。

居住支援協議会の設置について

Q 住宅政策と福祉政策の問題は密接に関わっており、民間の不動産業界、社会福祉協議会、地域包括支援センター等の関連団体が力を合わせ、地域の居住体制の強化を図る必要があり、本市として「居住支援協議会」を設置すべきでは？

A 市として参画している福島県居住支援協議会の昨年度の実績は、市民の相談は6件、うち5件が入居成約につながった。現時点では、県の居住支援協議会に参画する考えであるが、今後は関係団体と意見交換及び協議を継続し、本市の居住支援協議会の設置について検討していく。



高齢者等の終活支援について

終活情報登録事業について

Q 高齢者の終活について、エンディングノートの活用認知度が上がっているが、高齢者が元気づちから、人生の終末について考え、準備をするという活動が先進事例にみられる。エンディングノートの作成に留まることなく、より踏み込んだ体制づくり・仕組みづくりをし、実効性のある終活情報登録事業につなげるよう取り組むべき？



A 本市では、エンディングノートを作成し周知啓発を行っているが、今後については、実効性のある終活を進められるよう課題の整理に努め、必要な情報が適切に共有される仕組みづくりについて調査研究をし、地域ケア推進会議で意見をいただきながら検討していく。

麓山地区公共施設利用者の利便性向上について

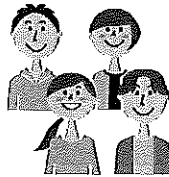
Q 去る11月9日、本市議会の4回目の議会報告会・意見交換会が開催され、参加された市民の方から、麓山地区の郡山公会堂と中央公民館が、現在第3日曜日が休館日となっており、文化施設が集まった麓山地区の賑わい創出のため、第3日曜日も開館してほしいとの意見があった。そこで郡山公会堂や中央公民館を土曜日と日曜日は基本的に開館すべきでは？

A 2施設については、今後さらなる利便性向上に向け、利用団体や関係団体、郡山市立公民館運営審議会から広く意見をいただきながら休館日の在り方について調査研究していく。



「プレコンセプションケアの普及」について

- Q 若い世代の健康意識向上やライフデザイン支援につながるプレコンセプションケア普及に対する市の認識と今後の取組方針を問う。
- A 本市も性や健康に関する正しい知識を身に付け、自らライフスタイルを選択できる社会の実現に向け、プレコンセプションケアの普及啓発が重要と認識している。今年度は中学生対象の思春期保健事業に内容を盛り込み、民間と協働で講演会を開催した。令和8年度はライフデザインセミナーの開催やプレコンサポーター養成の推進に取り組む。



「官民連携プラットフォームの必要性」について

- Q 長期的視点に立った若者定着と地域産業活性化に向け、行政・教育・経済団体などが連携する継続的な協議の場の構築について問う。
- A 本市では若者の還流と定着を推進するため、企業・団体や小中学校、高校と連携し様々な事業を実施している。令和8年度は企業型奨学金返還支援事業やインターンシップ受入体制構築支援事業などを予定している。提案のプラットフォームは課題解決に向けた協議の場として有効であり、先進事例を研究し、商工会議所や商工会、大学などの意見を伺いながら検討する。

「奨学金代理返還支援制度」について

- Q 企業が従業員の奨学金を代理返還する支援制度について、申請開始時期と企業が得られるメリットの周知方針を問う。
- A 企業が日本学生支援機構への登録や就業規則改定を行う必要があるため、申請受付は可能な限り早期に開始し相談体制を整える。メリットとして従業員の負担軽減や法人税控除などの経済的効果に加え、企業選択の要素となり採用力向上や定着率向上につながる。各種媒体で広報し、経済団体や社労士会と連携して周知を図る。

「防災重点農業用ため池」について

- Q 田村町の枇杷沢池の防災工事の進捗状況と、貯水量減少など水不足への対策について問う。
- A 令和8年度も洪水吐や底槽など取水施設工事を進め、令和9年度の完了を予定している。水不足対策として県に対し金屋地区の用水確保を要請している。市としても気象動向を注視し、県や地元水利組合と連携して工事推進と用水確保に努める。

「セクシャルマイノリティ理解増進」について

- Q セクシャルマイノリティへの理解を深め、生きづらさを抱える人を減らすための具体的な今後の取組について問う。
- A 市民意識調査では、セクシャルマイノリティの方が暮らしづらい社会だと思ふとの回答が約7割を占めた。これを踏まえ、第4次男女共同参画プランにおいて多様性への理解促進を掲げ、関係施策を推進する。

「ラムサール条約普及促進」について

- Q 猪苗代湖のラムサール条約登録を踏まえ、PRや普及啓発を進めるための今後の取組方針について問う。
- A 令和8年度は県と連携した交流事業や湖まつりと連携した環境学習を予定している。また猪苗代町のカフセミ水族館で企画展も実施される。さらに郡山市観光協会が国の補助金を活用したインバウンド誘客事業を企画するなど、周辺自治体と連携し活用を進める。



「古川池の整備」について

- ① 4番池の今後の計画
- Q 水質悪化が懸念される古川池4番池について、ヘドロ除去など環境改善を含めた今後の整備計画を問う。
- A 来年度から土砂堆積状況や河道切替に伴う水質変化を測定するとともに、掘削工事に先立ち樹木伐採を行うため約2,700万円を計上している。今後も日本大学工学部や古川池愛護会など関係者の意見を伺いながら計画を策定する。
- ② 管理用通路の整備
- Q 河川愛護活動や健康づくりに資する周遊型の管理用通路整備の検討状況について問う。
- A 年度掘削工事が完了する3番池について、管理用通路整備のため測量設計費約1,200万円を計上している。工事用通路の撤去に合わせ、年次計画で整備を進める予定である。

郡山市消防組合議会2月定例会での一般質問 令和8年2月3日

消防組合内で発生したパワー・ハラスメントについて、パワハラ撲滅に向けた、再発防止策など以下4点質問をした。

- ① 処分に至るまでの過程 ② 被害職員への対応
③ コンプライアンス体制と職員教育
④ 相談・通報体制強化
- 答弁として、パワハラ撲滅に向けた研修等の実施計画などがあり、再質問で早期の問題把握のために、メンター制度の導入を提案した。

研修会参加レポート

第25期自治政策講座 in 東京3 2025年10月28日・29日

テーマ:「これからの自治を担う議会 一みんなを進める政策づくり」

自治体議会の政策形成能力の向上を目的として開催された政策講座に参加。地方議会が地域住民とともに政策を形成し、持続可能な自治を実現していくための知識や視点を学んだ。

- 第1講義 日本大学商学部教授の紺野卓氏が「監査する視点からのDX推進とは一目を光らせるポイント」をテーマに講義。自治体におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進にあたり、議会がどのような観点からチェックし、適切な運用を確保していくべきかについて学んだ。
- 第2講義 弁護士で元農林水産大臣の山田正彦氏が「コメを守れ、地域を守れ—自治体の食料・農業政策—」をテーマに講義を行い、食料安全保障や地域農業の維持における自治体の役割について議論が行われた。
- 第3講義 駒澤大学名誉教授の大山礼子氏が「議会や制度の改革の第一歩—政治不信解消へできること—」について講義し、政治不信の解消や議会改革の必要性について学んだ。
- 第4講義 中央大学法学部教授の廣崎初仁氏が「議会における政策づくりのポイント—予算・条例・計画にどう向き合うか—」をテーマに講義。議会が政策形成に主体的に関わるための具体的な方法や考え方について学んだ。

地方議員政策セミナー 2026年1月19日・20日

テーマ:「人口減少時代における地方財政の未来」

講師 立命館大学教授・総務省経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー 森 裕之 氏

講義では、人口減少社会における自治体財政の課題と対応の方向性について解説。従来の効率性や財政規律のみを重視した財政運営ではなく、地域社会のつながりや住民同士の支え合いを基盤とした政策が重要であると指摘。特に、孤独・孤立対策や生活困窮者支援を財政と福祉の双方の視点から捉え、社会的弱者を地域で支える仕組みづくりの必要性を強調。人口減少によって税収の伸びが期待できない中で、地方自治体は財政危機を回避しながら持続可能な行政運営を行うことが求められ、そのためには、単なる歳出削減ではなく、地域のつながりを活かした政策形成や住民参加による地域課題の解決が重要であり、地方議会の役割も一層大きくなると指摘。今後の地方自治体は、財政の健全性と地域社会の持続性を両立させる視点を持つことが不可欠であるとの講義を受けた。

政策トピックス

物価高騰対策

生活・経営を応援

水道料金(簡易水道料金を含む)のうち準備料金(基本料金)半年分を免除します。給水区域外の世帯等には「家計支援給付金」を支給します。



水道料金免除 13億円

対象者	水道契約者(官公署を除く)
対象戸数	約140,000戸
免除内容	水道料金(基本料金)の半年分免除 ＜参考＞免除料金(半年分)の例(令和8年1月1日現在) ・口径13mm:6,360円・口径20mm:17,220円(簡易水道) ・口径13mm:3,780円・口径20mm:10,320円
開始時期	令和8年6月(予定)

家計支援給付金 1,662万円

対象者 ※①②を 両方 満たす方	①基準日時点において市内の給水区域外等に 居住又は給水区域内において水道未契約 ②井戸水又は山水等のみを生活用水として 利用している世帯主及び事業者
対象戸数	約4,000件
支給額	1支給対象者当たり3,780円※1世帯・事業者1回限り
申請方法	給水区域外→対象者に申請書を送付 水道未契約世帯→来庁の上で申請
申請期間 (予定)	令和8年6月～ (終了時期未定)

昨年末より国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した物価高騰対策が行われてきました。

I. 生活者への支援

12月補正 (議決済) 2億3,700万円	物価高対応子育て応援手当支給事業 予算額 2億3,700万円 ◆児童1人当たり 5,000円支給 〈国の「物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金」による支給〉 予算額 9億7,378万円 ◆児童1人当たり 2万円支給
1月補正 (議決済) 10億5,922万円	住民税非課税世帯への給付事業 予算額 5億6,000万円 ◆1世帯当たり 1万5,000円支給 高齢者(75歳以上)世帯への給付事業 予算額 2億8,500万円 ◆1世帯当たり 1万5,000円支給

II. 事業者への支援

中小企業等賃上げ支援事業 予算額 1億502万円 ◆労働者1人当たり1万円	飼料価格高騰緊急対策事業 予算額 5,320万円 ◆牛1頭当たり 4,000円～1万7,000円
酒米高騰支援事業 予算額 250万円 ◆1事業者当たり 上限50万円	民間児童施設光熱費等支援事業 予算額 5,198万円 ◆児童数区分に応じて支給
こども食堂支援事業 予算額 152万 ◆1食堂当たり 1.2万円～13万円	

郡山駅前エリアがリニューアル

郡山駅周辺エリアの利便性と魅力を向上します。 まちなか関連予算4億8,917万円

ペDESTリアン デッキの整備

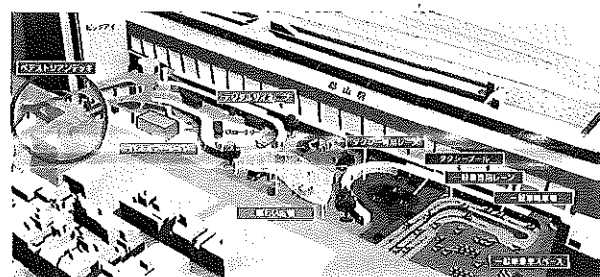
回遊性の向上と円滑な移動環境の確保により、まちなかの賑わいを創出します。
※R8年度完成予定

賑わい広場のリニューアル

新たなまちなかの賑わいを創出するため、稼販やPRイベント、キッチンカーやフリーマーケット等が開催しやすいように、イベント広場をリニューアルします。

まちなかの遊休不動産の リノベーションを支援

リノベーション経費と賃料を補助します。



バスロータリーの環境整備

安心で利便性の高いバスロータリーの環境整備を進めます。



バスステーション
バスがより利用しやすくなるよう、案内所・待合所・トイレが一体となった「バスステーション」の整備を進めます。

バスロータリー・賑わい広場 デジタルサイネージ

バスの運行情報、観光情報、市政情報などを提供するデジタルサイネージを新たに設置します。



西口ロータリーの改修

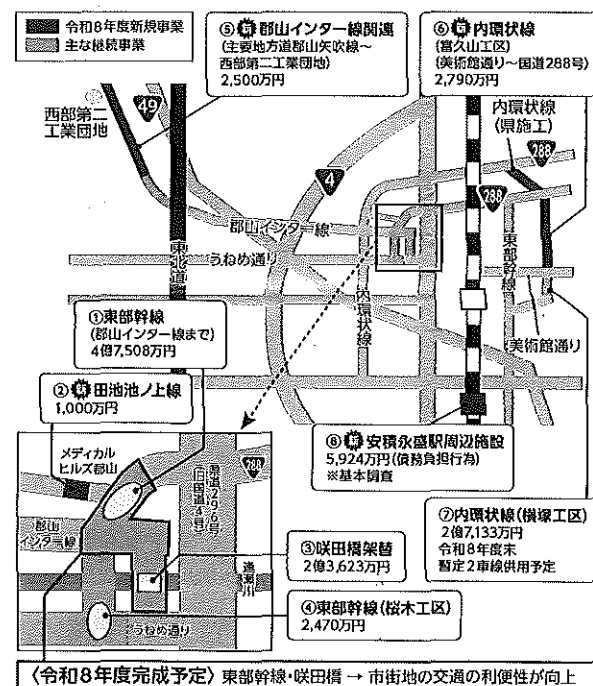
駅周辺の景観向上のため、西口ロータリーの改修を進めます。(R9年度工事着手)

①一般車専用レーン/一般車待合場
一般車の待合場と乗車場を完全に分離
②タクシー専用レーン/タクシー待合場
タクシーと一般車を完全に分離

※イラストはイメージを示したものであり、今後詳細な検討及び関係者との協議を進めます。

幹線道路の整備や安積永盛駅のバリアフリー化等、交通機能を強化します

幹線道路の整備や安積永盛駅のバリアフリー化等、交通機能を強化します。



支出明細書兼支出証明書

支出番号 28

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	③ 広報費	4 広聴費		送料（折込料含む） ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 （支出事由）		政務活動に係る広報誌（紙）の折込料金			
内 容		郡山市議会公明党議会報告（令和8年春季号）の折込料金 折込日、令和8年3月29日			
支出年月日		支出先		支出金額	
2026年3月27日		株式会社 ル・プロジェ		345,768円	
上記のとおり支出します。					
郡山市議会公明党					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

No 030735

郡山市議会公明党

様

345,768円

2001

但し 郡山市議会公明党議会報告（令和8年春季号）折込料金として

入金日 2026年3月26日

上記正に領収いたしました

御入金内訳

現金	振込	手形	相殺
	○		

取扱者

登録番号 T5380001006994

株式会社 ル・プロジェ

□本社 / 〒963-8032 福島県郡山市字牛田19番地の7
TEL(024)935-0789(代) FAX(024)935-0790(代)

□仙台営業本部 □東京営業本部

デジタルコピー&印刷工房 アヴァン

□郡山店 □仙台店

税抜金額 10%対象 314,335円
8%対象 円
非課税 円

消費税額等 10%対象 31433円
8%対象 円

社印及び取扱者印なきものは無効といたします。

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

請 求 書

郡山市議会公明党 御中

963-8032 福島県郡山市字下亀田17番地の7

株式会社ル・プロジェ
代表取締役 山田 洋一郎
TEL 024-935-0789 FAX 024-9

<御振込先>
大東銀行 朝日支店（普）No. 1278696
登録番号 T5380001006994

下記の通り御請求申し上げます

今回御請求額
345,768

※「消費税」は内税の場合表示されません。

日 付	商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額
3/27	郡山市議会公明党議会報告(令和8年春季号)				
	折込料金				
	■折込日:指定日折込				
	■サイズ:B4	64,150	部	4.50	288,675
	新聞紙:福島民報、福島民友、読売、毎日、朝日、日経				
	エリア:郡山市全域				
	<部数内訳>				
	民報:26,850部				
	民友:20,950部				
	読売:6,300部				
	朝日:5,550部				
	毎日:1,650部				
	日経:2,300部				
	産経:500部				
	河北新報:50部				
	配送料金	64,150	部	0.40	25,660
	※配送料金単価:0.4円/部				
	課税 10.0% 税抜額				314,335
	消費税額				31,433
	今回御買上額				345,768

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$382 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 417,144 \text{ mm}^2 \cdots \text{i}$$

2 対象外面積

$$0 \text{ mm}^2 \cdots \text{ii}$$

3 按分割合

$$\text{ii} \div \text{i} \times 100 = \text{対象外按分率 } 0\% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 345,768 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0\% = 0 \text{ 円} \cdots \text{iii}$$

(1 円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 345,768 \text{ 円} - \text{iii} = \underline{\underline{\text{対象経費 } 345,768 \text{ 円}}}$$



郡山市議会公明党 議会報告

「楽都郡山」

発行者
郡山市議会公明党

〒963-8601
郡山市朝日1丁目23番7号
TEL:024-924-2501

令和8年 春季号

令和8年3月定例会開催(2月19日～3月19日)

令和8年3月定例会では、人口減少や少子高齢化、物価高騰への対応、地域経済の活性化などの課題を踏まえ編成された当初予算や条例議案等を審議しました。一般会計は1,447億2,000万円(前年度比30億1,162万円増)、特別会計は1,024億7,523万円(同7億4,461万円減)で、予算総額は2,471億9,523万円(同0.9%増)となり、公共施設使用料や各種手数料の改定を含む全議案を可決しました。

第7次総合計画(2026年～2033年)

令和8年(2026年)4月より、郡山市の新しい街づくりの指針となる「第7次総合計画」がスタートします。人口減少や少子高齢化といった課題に対し、正面から向き合い、未来を切り拓く内容となっています。

1 将来都市像

東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち 郡山

東北の拠点都市として、人々に選ばれ、活気と未来への希望にあふれる街を目指します。

2 市政運営の3つの基本方針

街づくりの土台となる考え方として、以下の3点を掲げています。

選ばれるまち

暮らしの充実・笑顔になれるまち

経済の活性化

3 総合計画6つの大綱



主要施策

こども・教育

5歳児健診開始に向けた体制整備 137万円

実施方法
①アンケートでお子さんの様子を把握する ②状況に応じた必要な場合、健診を行う
スケジュール
R8.4～6月 7～9月 10～12月 R9.1～3月 4～6月
医師による健診のスタート



医療的ケア児在宅レスパイト事業 360万円

医療的ケア児のご家族のレスパイト(休息)時間の確保と介護負担の軽減のため、自宅に訪問看護ステーションの看護士を派遣します。



若者

プレコンセプションケアの学び等による若者を支援 3,999万円

プレコンセプションケアとは、性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)や将来の健康を考えて健康管理を行う取り組みです。

企業型奨学金返還支援事業 100万円

日本学生支援機構の奨学金代理返還支援制度を導入する中小企業に、導入費用を補助し人材確保を支援します。

聴覚者への補聴器購入助成事業 602万円

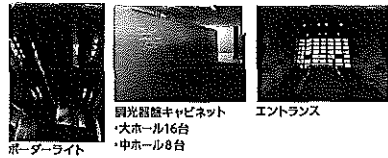
市民税非課税世帯の65歳以上の方で、両耳の聴力が40dB以上で耳鼻科の医師が補聴器の装着を必要と認める方の補聴器を購入する際の費用を一部助成します。



にぎわい、まちづくり

けんしん郡山文化センターの照明機器更新と今後の整備検討 7億2,144万円

庁内検討チームを設置して、効果的な大規模改修の手法や建物の可能性調査を行います。



部局間連携による
庁内検討チームを新たに設置
・効果的な大規模改修の手法
・建物の可能性の調査
・活用可能な財源の調査
・先進自治体の視察等

旧豊田貯水池利用のためワークショップ等を開催 240万円

旧豊田貯水池を開成山地区と一体的に捉え、市民や関係団体と共に考える機会を創出するため、フューチャーデザインの手法を用いてワークショップを開催します。



未来に続く みんなのまちづくり補助金の創設 160万円

地域の魅力創出活動や地域協働のプラットフォーム形成に補助上限額20万円 補助率1/2補助
課題を抱える地域団体



郡山市議会
公明党は
市民相談
を基本に
議会活動を
しています



7期 小島 寛子
住所: 郡山市富田町大字前11-14
電話: FAX: 024-924-5808



6期 田川 正治
住所: 郡山市大田町字小畑林4-15
電話: FAX: 024-961-1220



5期 但野 光夫
住所: 郡山市八山田2丁目862番地
電話: FAX: 024-924-0076



3期 山根 悟
住所: 郡山市田村町金屋字宝蔵89-2
電話: 024-958-6660

令和8年3月
定例会代表質問

たの みの
但野 光夫議員

将来都市像「東北の鼓動 未来奏でる 選ばれるまち 郡山」について

Q 将来都市像の理念や具体的な都市の姿、「選ばれるまち」とは誰からどのような点で選ばれることを想定しているのか、人口戦略や企業誘致、子育て支援などとの関係を含め市の考えを問う。

A 本市が東北の中核都市として持つ交通・産業・交流の拠点性を生かし、地域全体の発展をけん引していく都市を目指す考えを示したものである。「東北の鼓動」には、人・モノ・情報が集まり広域に活力を生み出す役割を担う都市であり続けるという意味が込められている。また「未来奏でる」には、多様な主体が協働しながら新しい価値や魅力を創出し、持続可能なまちづくりを進めていく姿を表している。さらに「選ばれるまち」は、子育て、産業、文化、生活環境など様々な分野で魅力を高め、市民はもとより企業や来訪者からも選ばれる都市を目指すという考えを示したものである。こうした理念のもと、市民とともに将来にわたり活力ある郡山の実現を図っていく。



今後の「けんしん郡山文化センター」施設のあり方について

Q 施設の老朽化やバリアフリーの課題を踏まえ、将来的な施設整備のあり方について市の見解を問う。

A 開館から40年を迎える「けんしん郡山文化センター」の整備方針を検討するため、令和3・4年度に調査・診断を実施しました。その結果、建物の躯体は健全なものの、照明・音響設備の劣化やバリアフリー対応の遅れなど、施設全体で物理的・機能的・社会的な劣化が確認されました。これまで緊急性の高い箇所に対応してきましたが、今後は物価・人件費の高騰や人口減少に伴う需要の変化を考慮する必要があります。そのため、新たに「庁内検討チーム」を設置し、他自治体の事例研究などを通じて、効果的な大規模改修の手法や、新施設建設の可能性を含めた検討を進めてまいります。

補聴器購入助成制度について

Q 加齢性難聴者への補聴器購入助成事業が始まります。補聴器の購入が促進されるように、制度の柔軟な運用を検討するべきと考えますが、見解を問う。

A 高齢者の難聴は、社会的孤立や認知症発症のリスクを高める要因となります。市は、高齢者の健康維持を目的に、独自の助成制度を創設するため、予算案602万2千円を今定例会に上程しました。本制度は、他市の事例を参考に「非課税世帯の方」を対象とする方針です。今後、本事業が効果的かつ実効性のある持続可能な制度となるよう、引き続き調査・研究を進めてまいります。



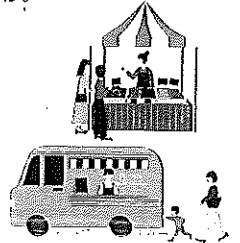
郡山駅前周辺整備について

Q 駅前再整備にあたり、野鳥の糞害対策を重点課題と位置づけ、関係部局でプロジェクトチームを作り、さらなる対策強化に取り組むべき、見解を伺います。

A 市は駅前の糞害に対し、商店街と協力して音・光による追い払いやゴミ出し管理を行ってきました。調査の結果、在来種に加え冬季に飛来するミヤマガラスが被害を増大させていることが判明しました。市単独での抜本的解決が困難なため、昨年5月には他自治体と連携し国へ対策を請願しています。今後も玄関口の環境美化のため、関係部局や商店街との協議の場を改めて設置し、糞害減少に向けた対策を強化していく方針です。

Q 郡山駅西口駅前広場の再整備にあたり、今まで開催に課題のあったテント等での飲食の販売を行うことは可能なのか。

A 市は、まちなかの賑わい創出のため、キッチンカーによる飲食販売やイベントを開催しやすい「賑わい広場」へのリニューアル事業に来年度から着手します。これに合わせ、一定のルールの下で民間事業者による飲食・物販等が可能となるよう、関係機関との調整や他市の事例調査を行い、条例等の改正に向けた検討を進めてまいります。



令和7年12月
定例会一般質問

おし みの
小島 寛子議員

住生活について

住まいのエンディングノートについて

Q 空家を作らない取組として、国が示す「住まいのエンディングノート」を活用し、民間の関係機関と連携し啓発活動を促し、行政機関の窓口で配布するなど、具体的な取組をすべきでは？



A これまで活用促進を図るためのチラシを作成し、「こおりやま空家バンクセミナー」等で周知・啓発してきたが、今後は、市民課や各行政センター窓口での配布、公式SNSでの発信、さらには民間の関係機関等とも連携を図り、周知・啓発に取り組む。

居住支援協議会の設置について

Q 住宅政策と福祉政策の問題は密接に関わっており、民間の不動産業界、社会福祉協議会、地域包括支援センター等の関連団体が力を合わせ、地域の居住体制の強化を図る必要があり、本市として「居住支援協議会」を設置すべきでは？

A 市として参画している福島県居住支援協議会の昨年度の実績は、市民の相談は6件、うち5件が入居成約につながった。現時点では、県の居住支援協議会に参画する考えであるが、今後は関係団体と意見交換及び協議を継続し、本市の居住支援協議会の設置について検討していく。



高齢者等の終活支援について

終活情報登録事業について

Q 高齢者の終活について、エンディングノートの活用認知度が上がっているが、高齢者が元気づちから、人生の終末について考え、準備をするという活動が先進事例にみられる。エンディングノートの作成に留まることなく、より踏み込んだ体制づくり・仕組みづくりをし、実効性のある終活情報登録事業につなげるよう取り組むべき？



A 本市では、エンディングノートを作成し周知啓発を行っているが、今後については、実効性のある終活を進められるよう課題の整理に努め、必要な情報が適切に共有される仕組みづくりについて調査研究をし、地域ケア推進会議で意見をいただきながら検討していく。

麓山地区公共施設利用者の利便性向上について

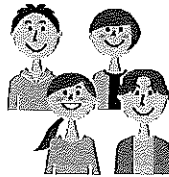
Q 去る11月9日、本市議会の4回目の議会報告会・意見交換会が開催され、参加された市民の方から、麓山地区の郡山公会堂と中央公民館が、現在第3日曜日が休館日となっており、文化施設が集まった麓山地区の賑わい創出のため、第3日曜日も開館してほしいとの意見があった。そこで郡山公会堂や中央公民館を土曜日と日曜日は基本的に開館すべきでは？

A 2施設については、今後さらなる利便性向上に向け、利用団体や関係団体、郡山市立公民館運営審議会から広く意見をいただきながら休館日の在り方について調査研究していく。



「プレコンセプションケアの普及」について

- Q 若い世代の健康意識向上やライフデザイン支援につながるプレコンセプションケア普及に対する市の認識と今後の取組方針を問う。
- A 本市も性や健康に関する正しい知識を身に付け、自らライフスタイルを選択できる社会の実現に向け、プレコンセプションケアの普及啓発が重要と認識している。今年度は中学生対象の思春期保健事業に内容を盛り込み、民間と協働で講演会を開催した。令和8年度はライフデザインセミナーの開催やプレコンサポーター養成の推進に取り組む。



「官民連携プラットフォームの必要性」について

- Q 長期的視点に立った若者定着と地域産業活性化に向け、行政・教育・経済団体などが連携する継続的な協議の場の構築について問う。
- A 本市では若者の還流と定着を推進するため、企業・団体や小中学校、高校と連携し様々な事業を実施している。令和8年度は企業型奨学金返還支援事業やインターンシップ受入体制構築支援事業などを予定している。提案のプラットフォームは課題解決に向けた協議の場として有効であり、先進事例を研究し、商工会議所や商工会、大学などの意見を伺いながら検討する。

「奨学金代理返還支援制度」について

- Q 企業が従業員の奨学金を代理返還する支援制度について、申請開始時期と企業が得られるメリットの周知方針を問う。
- A 企業が日本学生支援機構への登録や就業規則改定を行う必要があるため、申請受付は可能な限り早期に開始し相談体制を整える。メリットとして従業員の負担軽減や法人税控除などの経済的効果に加え、企業選択の要素となり採用力向上や定着率向上につながる。各種媒体で広報し、経済団体や社労士会と連携して周知を図る。

「防災重点農業用ため池」について

- Q 田村町の枇杷沢池の防災工事の進捗状況と、貯水量減少など水不足への対策について問う。
- A 令和8年度も洪水吐や底槽など取水施設工事を進め、令和9年度の完了を予定している。水不足対策として県に対し金屋地区の用水確保を要請している。市としても気象動向を注視し、県や地元水利組合と連携して工事推進と用水確保に努める。

「セクシャルマイノリティ理解増進」について

- Q セクシャルマイノリティへの理解を深め、生きづらさを抱える人を減らすための具体的な今後の取組について問う。
- A 市民意識調査では、セクシャルマイノリティの方が暮らしづらい社会だと思ふとの回答が約7割を占めた。これを踏まえ、第4次男女共同参画プランにおいて多様性への理解促進を掲げ、関係施策を推進する。

「ラムサール条約普及促進」について

- Q 猪苗代湖のラムサール条約登録を踏まえ、PRや普及啓発を進めるための今後の取組方針について問う。
- A 令和8年度は県と連携した交流事業や湖まつりと連携した環境学習を予定している。また猪苗代町のカフセミ水族館で企画展も実施される。さらに郡山市観光協会が国の補助金を活用したインバウンド誘客事業を企画するなど、周辺自治体と連携し活用を進める。



「古川池の整備」について

- ① 4番池の今後の計画
- Q 水質悪化が懸念される古川池4番池について、ヘドロ除去など環境改善を含めた今後の整備計画を問う。
- A 来年度から土砂堆積状況や河道切替に伴う水質変化を測定するとともに、掘削工事に先立ち樹木伐採を行うため約2,700万円を計上している。今後も日本大学工学部や古川池愛護会など関係者の意見を伺いながら計画を策定する。
- ② 管理用通路の整備
- Q 河川愛護活動や健康づくりに資する周遊型の管理用通路整備の検討状況について問う。
- A 年度掘削工事が完了する3番池について、管理用通路整備のため測量設計費約1,200万円を計上している。工事中の通路の撤去に合わせ、年次計画で整備を進める予定である。

郡山市消防組合議会2月定例会での一般質問 令和8年2月3日

消防組合内で発生したパワー・ハラスメントについて、パワハラ撲滅に向けた、再発防止策など以下4点質問をした。

- ① 処分に至るまでの過程 ② 被害職員への対応
③ コンプライアンス体制と職員教育
④ 相談・通報体制強化
- 答弁として、パワハラ撲滅に向けた研修等の実施計画などがあり、再質問で早期の問題把握のために、メンター制度の導入を提案した。

研修会参加レポート

第25期自治政策講座 in 東京3 2025年10月28日・29日

テーマ:「これからの自治を担う議会 一みんなを進める政策づくり」

自治体議会の政策形成能力の向上を目的として開催された政策講座に参加。地方議会が地域住民とともに政策を形成し、持続可能な自治を実現していくための知識や視点を学んだ。

- 第1講義 日本大学商学部教授の紺野卓氏が「監査する視点からのDX推進とは一目を光らせるポイント」をテーマに講義。自治体におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進にあたり、議会がどのような観点からチェックし、適切な運用を確保していくべきかについて学んだ。
- 第2講義 弁護士で元農林水産大臣の山田正彦氏が「コメを守れ、地域を守れ—自治体の食料・農業政策—」をテーマに講義を行い、食料安全保障や地域農業の維持における自治体の役割について議論が行われた。
- 第3講義 駒澤大学名誉教授の大山礼子氏が「議会や制度の改革の第一歩—政治不信解消へできること—」について講義し、政治不信の解消や議会改革の必要性について学んだ。
- 第4講義 中央大学法学部教授の廣崎初仁氏が「議会における政策づくりのポイント—予算・条例・計画にどう向き合うか—」をテーマに講義。議会が政策形成に主体的に関わるための具体的な方法や考え方について学んだ。

地方議員政策セミナー 2026年1月19日・20日

テーマ:「人口減少時代における地方財政の未来」

講師 立命館大学教授・総務省経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー 森 裕之 氏

講義では、人口減少社会における自治体財政の課題と対応の方向性について解説。従来の効率性や財政規律のみを重視した財政運営ではなく、地域社会のつながりや住民同士の支え合いを基盤とした政策が重要であると指摘。特に、孤独・孤立対策や生活困窮者支援を財政と福祉の双方の視点から捉え、社会的弱者を地域で支える仕組みづくりの必要性を強調。人口減少によって税収の伸びが期待できない中で、地方自治体は財政危機を回避しながら持続可能な行政運営を行うことが求められ、そのためには、単なる歳出削減ではなく、地域のつながりを活かした政策形成や住民参加による地域課題の解決が重要であり、地方議会の役割も一層大きくなると指摘。今後の地方自治体は、財政の健全性と地域社会の持続性を両立させる視点を持つことが不可欠であるとの講義を受けた。

政策トピックス

物価高騰対策

生活・経営を応援

水道料金(簡易水道料金を含む)のうち準備料金(基本料金)半年分を免除します。給水区域外の世帯等には「家計支援給付金」を支給します。



水道料金免除 13億円

対象者	水道契約者(官公署を除く)
対象戸数	約140,000戸
免除内容	水道料金(基本料金)の半年分免除 ＜参考＞免除料金(半年分)の例(令和8年1月1日現在) ・口径13mm:6,360円・口径20mm:17,220円(簡易水道) ・口径13mm:3,780円・口径20mm:10,320円
開始時期	令和8年6月(予定)

家計支援給付金 1,662万円

対象者 ※①②を 両方 満たす方	①基準日時点において市内の給水区域外等に 居住又は給水区域内において水道未契約 ②井戸水又は山水等のみを生活用水として 利用している世帯主及び事業者
対象戸数	約4,000件
支給額	1支給対象者当たり3,780円※1世帯・事業者1回限り
申請方法	給水区域外→対象者に申請書を送付 水道未契約世帯→来庁の上で申請
申請期間 (予定)	令和8年6月～ (終了時期未定)

昨年末より国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した物価高騰対策が行われてきました。

I. 生活者への支援

12月補正 (議決済) 2億3,700万円	物価高対応子育て応援手当支給事業 予算額 2億3,700万円 ◆児童1人当たり 5,000円支給 〈国の「物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金」による支給〉 予算額 9億7,378万円 ◆児童1人当たり 2万円支給
1月補正 (議決済) 10億5,922万円	住民税非課税世帯への給付事業 予算額 5億6,000万円 ◆1世帯当たり 1万5,000円支給 高齢者(75歳以上)世帯への給付事業 予算額 2億8,500万円 ◆1世帯当たり 1万5,000円支給

II. 事業者への支援

中小企業等賃上げ支援事業 ◆労働者1人当たり1万円	予算額 1億502万円
飼料価格高騰緊急対策事業 ◆牛1頭当たり 4,000円～1万7,000円	予算額 5,320万円
酒米高騰支援事業 ◆1事業者当たり 上限50万円	予算額 250万円
民間児童施設光熱費等支援事業 ◆児童数区分に応じて支給	予算額 5,198万円
こども食堂支援事業 ◆1食堂当たり 1.2万円～13万円	予算額 152万円

郡山駅前エリアがリニューアル

郡山駅周辺エリアの利便性と魅力を向上します。 まちなか関連予算4億8,917万円

ペDESTリアン デッキの整備

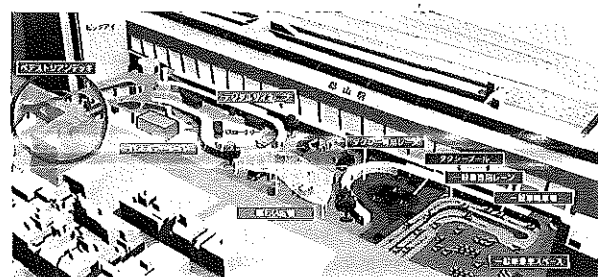
回遊性の向上と円滑な移動環境の確保により、まちなかの賑わいを創出します。
※R8年度完成予定

賑わい広場のリニューアル

新たなまちなかの賑わいを創出するため、稼販やPRイベント、キッチンカーやフリーマーケット等が開催しやすいように、イベント広場をリニューアルします。

まちなかの遊休不動産の リノベーションを支援

リノベーション経費と賃料を補助します。



バスロータリーの環境整備

安心で利便性の高いバスロータリーの環境整備を進めます。



バスステーション
バスがより利用しやすくなるよう、案内所・待合所・トイレが一体となった「バスステーション」の整備を進めます。

バスロータリー・賑わい広場 デジタルサイネージ

バスの運行情報、観光情報、市政情報などを提供するデジタルサイネージを新たに設置します。



西口ロータリーの改修

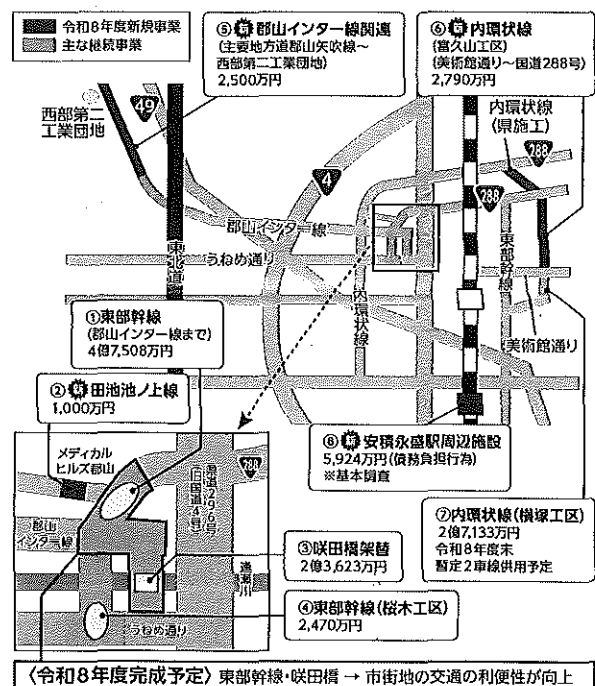
駅周辺の景観向上のため、西口ロータリーの改修を進めます。(R9年度工事着手)

①一般車専用レーン/一般車待合場
一般車の待合場と乗車場を完全に分離
②タクシー専用レーン/タクシー待合場
タクシーと一般車を完全に分離

※イラストはイメージを示したものであり、今後詳細な検討及び関係者との協議を進めます。

幹線道路の整備や安積永盛駅のバリアフリー化等、交通機能を強化します

幹線道路の整備や安積永盛駅のバリアフリー化等、交通機能を強化します。



支出明細書兼支出証明書

支出番号 28

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研 修 費	③ 広 報 費	4 広 聴 費		振込料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事 務 所 費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支 出 目 的 （支出事由）	政務活動に係る広報誌（紙）の制作費・印刷費・折込料の振込料				
内 容	郡山市議会公明党議会報告（令和 8 年春号）の制作費・印刷費・折込料の振込料				
支 出 年 月 日	支 出 先			支 出 金 額	
2026 年 3 月 27 日	株式会社 東邦銀行			880 円	
上記のとおり支出します。					
郡山市議会公明党					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

別 紙

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第 11 号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

☐ 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

- 振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。
また、受取人名等をカナ文字により送信します。
- 記載内容に不備があった場合は、照会等のために振込が遅延することがあり、場合によってはご入金できないこともあります。
- 振込内容につき訂正・取消が生じた場合は、各種依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。
この場合、振込手数料は返却いたしません。なお、場合によっては取消ができないこともあります。この場合、取消手続に関わる手数料は返却いたしません。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

公明党 R8 春季号 振込代

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$382 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 417,144 \text{ mm}^2 \cdots i$$

2 対象外面積

$$0 \text{ mm}^2 \cdots ii$$

3 按分割合

$$ii \div i \times 100 = \text{対象外按分率 } 0\% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 880 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0\% = 0 \text{ 円} \cdots iii$$

(1 円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 880 \text{ 円} - iii = \underline{\underline{\text{対象経費 } 880 \text{ 円}}}$$

支出調書

会派名		代表者	経理責任者	起案者		
郡山市議会公明党				郡山市議会公明党 		
区 分	事 由	費 目 ・ 金 額				小 計
1	調 査 研 究 費	交通費		旅費		
		自動車燃料費		資料作成費		
		調査委託費		振込料		
2	研 修 費 出席者負担金・会費 振込料 29~31 北九州市 旅費	会場費		講師謝金		
		出席者負担金・会費	50,000	交通費		
		旅費	441,800	自動車燃料費		
		資料作成費		食糧費		
		振込料	880			382,680
3	報 費	会場費		交通費		
		自動車燃料費		資料作成費		
		広報誌（紙）		報告書等印刷費		
		送料（折込料含む）		ウェブページ 掲載代		
		茶菓子代		振込料		
4	広 聴 費	会場費		交通費		
		自動車燃料費		資料作成費		
		茶菓子代		振込料		
5	要 請 活 動 費 陳 情 費	交通費		旅費		
		自動車燃料費		資料作成費		
		振込料				
6	会 議 費	会場費		交通費		
		自動車燃料費		資料作成費		
		振込料				
7	資 料 作 成 費	印刷製本費		翻訳料		
		筆耕料		振込料		
8	資 料 購 入 費	法規追録代		参考図書代		
		新聞（日刊紙） 購読料		雑誌等購読料		
		有料データベース 等利用料		振込料		
9	人 件 費	賃金		社会保険料等		
		振込料				
10	事 務 所 費	備品購入費		事務機器等 リース代		
		消耗品等事務費		印刷代		
		振込料		配送手数料		
11	通 信 運 搬 費 自 動 車 燃 料 費	電話料等（按分）		郵便料等		
		自動車燃料費 （按分）		その他		
支出年月日		現金出納簿 支出番号	29	合 計	382,680	

支出明細書兼支出証明書

支出番号 29

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		出席者負担金
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
					※該当する支出費目を記入
支出目的 (支出事由)		調査研修に係る出席者負担金 (視察)			
内 容		リバーショーンまちづくり			
支出年月日		支 出 先		支 出 金 額	
2026年3月3日		(株)北九州家守舎		50,000 円	
上記のとおり支出します。					
議員氏名 郡山市議会公明党 小島					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

別紙

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領収書

郡山市議会公明党 御中

発行日: 2026/03/13
領収書番号: 202603_001

合計金額

50,000 円

2026年3月30日視察研修代として

小計	50,000円
うち消費税	4,545円
(内訳)	
10%対象	45,455円(消費税 4,545円)
視察研修代	



株式
会社

北九州家守舎

株式会社北九州家守舎

登録番号: T7290801018825

〒802-0006

福岡県北九州市小倉北区魚町2-1-7



請求書

郡山市議会公明党 御中



株式会社 北九州家守舎

株式会社北九州家守舎

登録番号:T7290801018825

〒802-0006

福岡県北九州市小倉北区魚町2-1-7



請求書番号:202603_002

請求日: 2026/03/12

お支払期限:2026/04/30

件名: 2026年3月30日視察研修代

ご請求金額 50,000 円

納品日	品目・納品書番号	単価	数量	価格
2026/03/30	視察研修代	50,000	1	50,000
小計				50,000
うち消費税額合計				4,545
合計				50,000

税率別内訳			
	税抜金額	消費税額	税込金額
10%	45,455	4,545	50,000

振込先

北九州銀行 本店営業部(店番116)
通 5073445
式会社北九州家守舎

備考

誠に恐れ入りますが、振込手数料はご負担頂きますようお願いいたします。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 29

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		振込料
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 （支出事由）		視察研修に係る出席者負担金の振込料			※該当する支出費目を記入
内 容		リバーションのまろづく			
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2026年8月30日	東邦銀行		880 円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 郡山市議会公明党 小島					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

別紙

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

☒ 振込金受取書(兼振込手数料受取書)

☐ 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

ご指定日 8 年 8 月 13 日		金融機関名(漢字)を左づめでご記入ください(東邦銀行の場合は記入不要)		支店名(漢字)を左づめでご記入ください			
お振込先	化九附 (〇をおつけください) 信 金 信 組 農 協 その他 ☐ 東邦銀行 ☐ ☐ ☐ ☐				銀行 本店営業部		支出 張 店 所
	預金種目 該当種目に〇をおつけください 1.普通 2.当座 4.貯蓄 9.その他 0 0 0 0		右づめでご記入ください 5070445		金額 十 億 千 万 百 万 十 万 万 千 百 十 円 0 0 0 0 0 7 5 0 0 0 0		
お受取人(口座名義)	カタカナ カブリキタキエウシエウヤモリシ				消費税込手数料 円 部 度 後 納 ¥880		
	おなまえ(漢字) (株)化九附家守舎				当行をご利用くださいましてありがとうございます。 8. 3. 13 株式会社 東邦銀行 郡山駅前支店 200円		
依頼人	カタカナ コオリヤシキカイコウキイトウ				出14納 8. 3. 13 東邦銀行 郡山駅前支店		
	おなまえ(漢字) 郡山市議会 公明党				株式会社 東邦銀行 登録番号 T9380001001018		
日中連絡できるお電話番号 ☒ 携帯・自宅 郡山市 富田町字大島前 11-14				税率 10%		消費税額 ¥80	
おところ 郡山市 富田町字大島前 11-14							

●振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。
また、受取人名等をカナ文字により送信します。

●記載内容に不備があった場合は、照会等のために振込が遅延することがあり、場合によってはご入金できないこともあります。

●振込内容につき訂正・取消が生じた場合は、各種依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。
この場合、振込手数料は返却いたしません。なお、場合によっては取消ができないこともあります。この場合、取消手続に関わる手数料は返却いたしません。

●通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 29

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 小島 寛子

下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	331,800 円 (1人あたり 110,600 円) ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	視察研修	
用務先	北九州市	
内容	リバーサイドまらびく 北九州市エコタウンセンターについて アジアカーボンニュートラルセンターについて・資源循環ネット7-7r	
期間	2026年 3月 29日 ~ 2026年 3月 31日 (2泊3日)	
行程		
出張(調査等)者名	山根 悟夫 山根 光寛 山根 小島	
特記事項		

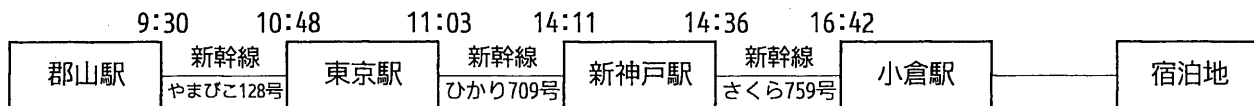
上記のとおり出張（調査等）を許可します。					
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	2026年 3月 24日
				許 可 日	2026年 3月 24日
				支 出 日	2026年 3月 24日

上記金額を受領しました。 2026年 3月 24日	申請代表者氏名 小島 寛子
------------------------------	---------------

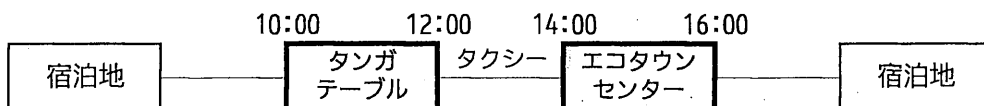
令和7年度 郡山市議会公明党 行政調査行程表

1 行程

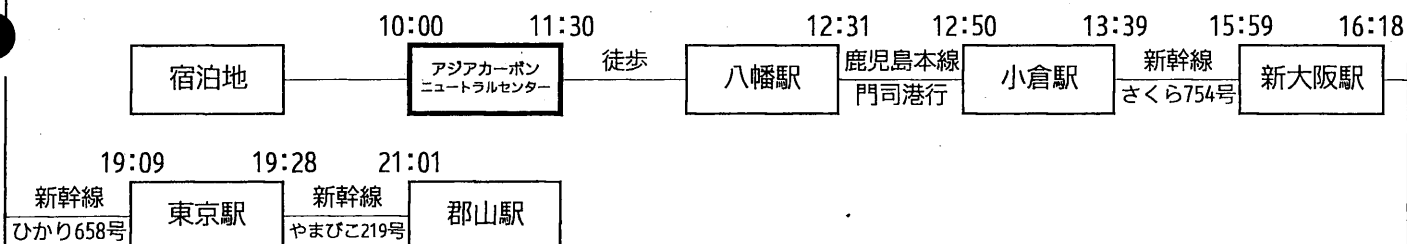
□令和8年3月29日(日)



□令和8年3月30日(月)



□令和8年3月31日(火)



2 人員 3名

小島 寛子 議員
但野 光夫 議員
山根 悟 議員

3 視察内容

【北九州市】

1 令和8年3月30日(月)

○北九州家守舎リノベーションまちづくりについて
○北九州市エコタウンセンターについて

2 令和8年3月31日(火)

○資源循環ネットワークについて

4 事務局連絡先・会場

【事務局】株式会社北九州家守舎

所在地：福岡県北九州市小倉北区魚町2-1-7松永ビル5F

【会場】北九州家守舎タンガテーブル

所在地：同区馬借1丁目5-25
ホラヤビル4F

【事務局】一般社団法人北九州市エコタウンネットワーク

所在地：福岡県北九州市若松区向洋町10番地20
TEL：093-752-2881

【会場】北九州市エコタウンセンター

所在地：同左
TEL：同左

【事務局】一般社団法人資源循環ネットワーク

所在地：福岡県北九州市八幡東区平野1丁目1番1号
TEL：093-616-8155

【会場】アジアカーボンニュートラルセンター

所在地：同左
TEL：同左

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 郡山市議会公明党
 参加議員 : 小島 寛子議員、俣野 光夫議員、山根 悟議員
 日程 : 令和8年3月29日(日)～31日(火)
 行先 : 北九州家守舎タンガテーブル(福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目5-25ホラヤビル4F)
 北九州市エコタウンセンター(福岡県北九州市若松区向洋町10番地20)
 アジアカーボンニュートラルセンター(福岡県北九州市八幡東区平野1丁目1番1号)

3月29日	郡山駅	新幹線 226.7	東京駅	新幹線 589.5	新神戸駅	新幹線 518.2	小倉駅										
運賃	15,400																15,400
急行料金	4,470	16,130															20,600
席種	指定	グリーン															0
実費																	0

3月31日	八幡駅	鹿児島本線 11.2	小倉駅	新幹線 555.1	新大阪駅	新幹線 552.6	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅								
運賃	15,400																15,400
急行料金		16,130															20,600
席種		グリーン															0
実費																	0

交通費	72,000		72,000	
日当	3,000 ×	3日 =	9,000	
宿泊費	14,800 ×	2泊 =	29,600	
合計			110,600 円	× 3名 = 331,800 円

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 29

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

山 根 悟			
但 野 光 夫			
小 島 寛 子			
			
			
			

記

期 間	2026年 3 月 29 日 ~ 2026年 3 月 31 日 (2泊3日)					
目 的	視察研修					
用 務 先	北九州市					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙添付					
旅 費 精 算	受領額	331,800円	精算額	331,800円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

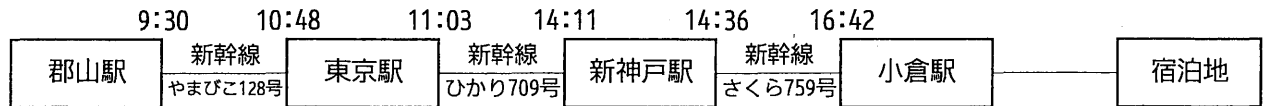
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	2026 年 3 月 31 日
				確 認 日	2026 年 3 月 31 日
				精 算 日	2026 年 3 月 31 日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

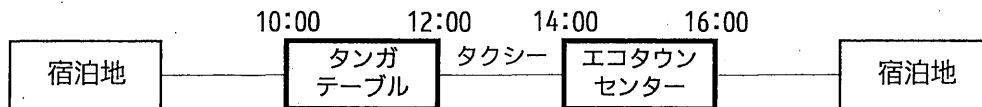
令和7年度 郡山市議会公明党 行政調査行程表

1 行程

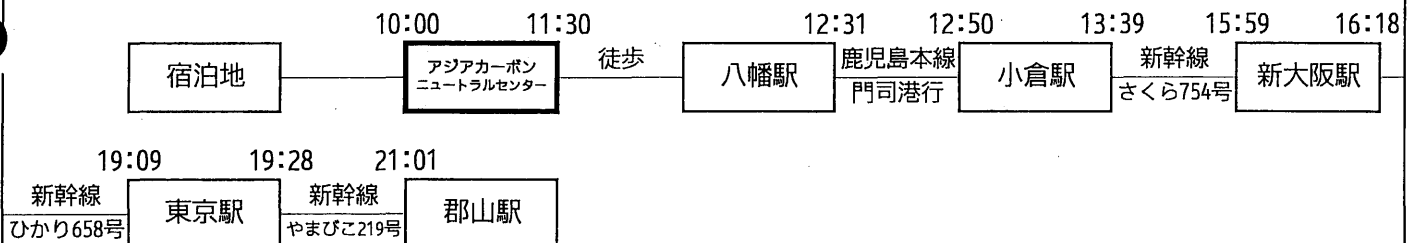
□令和8年3月29日(日)



□令和8年3月30日(月)



□令和8年3月31日(火)



2 人員 3名

小島 寛子 議員
但野 光夫 議員
山根 悟 議員

3 視察内容

【北九州市】

1 令和8年3月30日(月)

○北九州家守舎リノベーションまちづくりについて

○北九州市エコタウンセンターについて

2 令和8年3月31日(火)

○資源循環ネットワークについて

4 事務局連絡先・会場

【事務局】株式会社北九州家守舎

所在地：福岡県北九州市小倉北区魚町2-1-7松永ビル5F

【会場】北九州家守舎タンガテーブル

所在地：同区馬借1丁目5-25
ホラヤビル4F

【事務局】一般社団法人北九州市エコタウンネットワーク

所在地：福岡県北九州市若松区向洋町10番地20

TEL：093-752-2881

【会場】北九州市エコタウンセンター

所在地：同左

TEL：同左

【事務局】一般社団法人資源循環ネットワーク

所在地：福岡県北九州市八幡東区平野1丁目1番1号

TEL：093-616-8155

【会場】アジアカーボンニュートラルセンター

所在地：同左

TEL：同左

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 郡山市議会公明党
参加議員 : 小島 寛子議員、但野 光夫議員、山根 悟議員
日程 : 令和8年3月29日(日)～31日(火)
行先 : 北九州家守舎タンガテーブル(福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目5-25ホラヤビル4F)
北九州市エコタウンセンター(福岡県北九州市若松区向洋町10番地20)
アジアカーボンニュートラルセンター(福岡県北九州市八幡東区平野1丁目1番1号)

3月29日	郡山駅	新幹線 226.7	東京駅	新幹線 589.5	新神戸駅	新幹線 518.2	小倉駅							
運賃	15,400													15,400
急行料金	4,470	16,130												20,600
席種	指定	グリーン	グリーン											0
実費														0

3月31日	八幡駅	鹿児島本線 11.2	小倉駅	新幹線 555.1	新大阪駅	新幹線 552.6	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅					
運賃	15,400													15,400
急行料金	16,130													20,600
席種	グリーン													0
実費	グリーン													0

交通費	72,000	72,000	
日当	3,000 ×	3日 =	9,000
宿泊費	14,800 ×	2泊 =	29,600
合計		110,600 円	× 3名 = 331,800 円

郡山市議会公明党 視察研修報告書

(令和8年3月30日・31日)

1. 概要

日時：令和8年3月30日～31日

参加者：小島寛子 但野光夫 山根悟

本視察では、3月30日に北九州家守舎においてリノベーションまちづくりによるエリア再生について研修を受け、午後には北九州エコタウン事業について説明を受けるとともに、関連施設の視察見学を行った。

また、3月31日には一般社団法人資源循環ネットワークにおいて、環境施策における行政の関わりと支援、資源循環の実務、災害廃棄物対応などについて講義を受講した。

2. 1日目(3月30日) 午前の視察

(1) 研修先

北九州家守舎

(2) 講師

遠矢弘毅 北九州家守舎代表

(3) 研修内容

本研修では、「リノベーションまちづくりによるエリア再生」をテーマに、北九州市における実践事例について学んだ。

北九州市は人口減少および高齢化が政令市の中でも先行しており、中心市街地においても空き店舗や空きオフィスの増加が課題となっている。従来の中心市街地活性化施策では、家賃補助等により一時的な出店は促進されるものの、補助終了後に撤退するケースが多く、持続的ににぎわい創出には至っていなかった。

こうした課題を背景に、遊休不動産を活用したリノベーションまちづくりが推進されている。この取組は、行政が方向性を示し、民間が実行主体となり、中間支援組織がプロジェクトを連続的に創出する仕組みにより、持続可能なエリア再生を実現するものである。

具体的には、短期間で事業計画を策定しオーナーへ提案する「リノベーションスクール」により、人材育成と事業創出を同時に推進している。また、出店者が支払可能な家賃から改修費を逆算する手法や、狙った事業者を個別に誘致する手法により、低コストかつ魅力ある店舗集積を実現している。

さらに、「家守舎」と呼ばれる中間支援組織が、オーナーとテナントの間に立ち、企画・調整・運営を担うことで、事業の継続性を高めている点が特徴である。

(4) 主な示唆

まちづくりにおいては、全体に均等に投資するのではなく、将来的ににぎわいが見込まれるエリアに集中的に投資することが重要である。

また、空き店舗対策については、「空いていること」自体ではなく、「なぜ空いたのか」という原因分析を行い、それに応じた対策を講じる必要がある。

さらに、民間は将来性を見込めば一気に投資を行う一方で、行政は分散的な対応になりやすいため、行政は民間が参入しやすい環境整備に注力すべきである。

加えて、業種を一定程度絞り込み、テーマ性を持たせたエリア形成により、来街目的の明確化とにぎわい創出につながるとの知見を得た。

3. 1日目(3月30日) 午後の視察

(1) 視察内容

北九州エコタウン事業

(2) 概要

本視察では、廃棄物の受入れに対する市民理解の醸成および環境教育の推進を目的として、施設の取組について説明を受けた。

北九州市では、市民に対して廃棄物処理に関する安心感を高めるとともに、環境教育の拠点として位置付けており、特にSDGsに関する環境学習については、小学4年生を対象に継続的に実施されている。

(3) 主な取組内容

響灘エリアには、現在約27のリサイクル関連事業が集積しており、金属、プラスチック、家電、自動車、電子機器など多様な分野で資源循環が行われている。

主な取組としては、以下のような事例が挙げられる。

- ・ PET ボトルの再生による食品トレー等への再利用
- ・ 使用済みパソコンの分解・再資源化
- ・ 自動車の部品単位での分解・再利用
- ・ 家電製品の高効率リサイクル
- ・ 建設資材や木質・プラスチック複合材の製造
- ・ 小型電子機器・携帯電話の回収
- ・ 太陽光パネルの高度熱処理による再資源化

これらの事業は民間主体で運営されているが、エリア内に集積することで、効率的な資源循環が実現されている。

(4) 成果

北九州市では、1997 年よりエコタウン事業を開始しており、当初は雇用創出約 800 人、投資額約 600 億円を目標としていた。

その結果、現在では雇用は約 1,000 人規模、投資額も 900 億円を超える規模となり、当初の目標を上回る成果を達成している。

また、CO₂削減やごみ焼却量の削減など、環境面においても大きな成果を上げている。

(5) エネルギーとの連携

響灘エリアでは、リサイクル事業とともに、太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーの集積も進められている。

特に洋上風力発電は国内有数の規模を有しており、今後さらなる拡大が見込まれている。

4. 2 日目 (3 月 31 日) 講義

(1) 研修先

一般社団法人 資源循環ネットワーク

(2) 講師

氏

(3) 講義内容 (要旨)

本講義では、資源循環分野における実務と行政支援のあり方について、実体験に基づく説明が行われた。

まず、リサイクルにおいては「トレーサビリティ（追跡管理）」が極めて重要であり、不適正輸出や不法投棄を防ぐためには、廃棄物の流れを正確に把握する仕組みが不可欠であるとの指摘があった。

背景として、医療系廃棄物が廃プラスチックと偽装されて輸出されるなどの問題が国際的に発生し、これを契機に有害廃棄物の輸出入を規制するバーゼル条約（バーゼル法）が整備された経緯がある。

また、企業にとっても、製品が適切に処理されない場合、ブランド毀損や責任問題につながるリスクがあり、情報管理の重要性が強調された。

さらに、災害廃棄物処理については、「初動対応がすべてを左右する」との認識が示された。発災後、速やかに廃棄物を搬出・整理しなければ、仮置き場が混乱し、処理期間やコストが大幅に増加する。

仮置き場の選定においては、単に広い場所ではなく、大型車両の進入性、周辺環境、交通アクセスなどを総合的に評価する必要がある。また、事前に分別方法や収集方法を地域ごとに想定しておくことが重要である。

加えて、行政の役割については、「線引きと責任を担うこと」が本質であり、すべてを自前で実施するのではなく、民間のノウハウを活用することが不可欠であるとの見解が示された。

資源循環分野は今後、民間主導での展開が一層進むと見込まれるが、その前提として、事業として成立する収益性の確保が不可欠であり、補助金に依存した取組は持続しないとの指摘があった。

5. 郡山市への提言（総括）

本研修を踏まえ、郡山市においては、以下の視点での取組が必要である。

まず、中心市街地の再生においては、ポテンシャルの高いエリアに集中的に投資し、にぎわいの核を形成することが重要である。また、空き店舗対策については原因分析を徹底し、戦略的な誘致とエリアマネジメントを行うべきである。

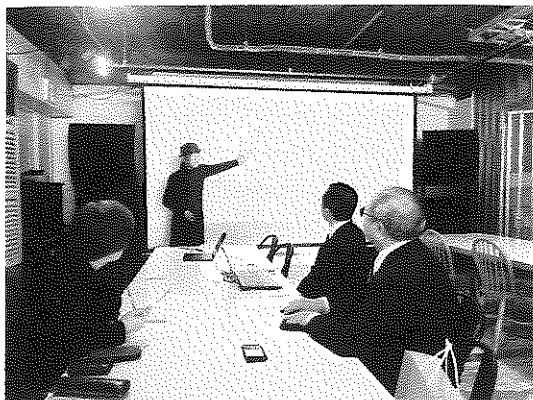
次に、民間主体のまちづくりを支えるため、オーナーと事業者をつなぐ中間支援組織の構築が求められる。

さらに、資源循環分野においては、リサイクル関連事業者の集積拠点形成を検討し、広域的な処理体制を構築することが重要である。

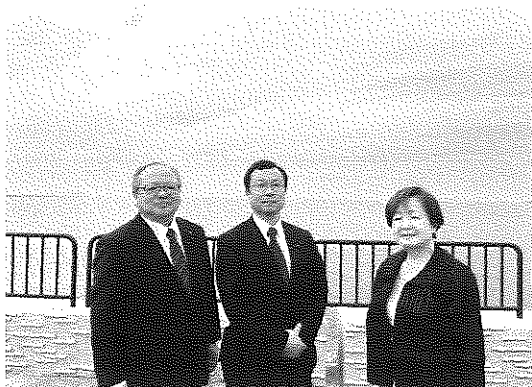
また、災害廃棄物処理計画については、実効性を重視し、初動対応や仮置き場運用まで踏み込んだ見直しが必要である。

加えて、行政と民間の役割分担を明確にし、民間の技術力とノウハウを活用することで、持続可能で効率的な資源循環体制の構築を目指すべきである。

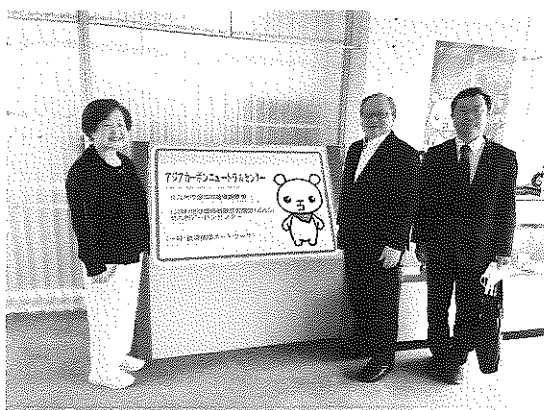
2026年3月30日・31日 北九州市視察研修



北九州家守舎にて、リノベーションのまちづくり研修



北九州市エコタウン内、リサイクル施設・洋上風力発電を視察



アジアカーボンニュートラルセンター視察後、(一)資源循環ネットワークにて研修